

平成 30 年 1 月 4 日
 鹿児島地方気象台

九州南部・奄美地方の 12 月の気候統計値

強い寒気が断続的に流れ込んだため、九州南部では気温がかなり低かった。冬型の気圧配置が強まる時期が多かったため、奄美地方では曇りの日が多く、降水量と日照時間はかなり少なかった。

上旬：九州南部では、高気圧と気圧の谷が交互に通過して天気は数日の周期で変わりました。気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となり、東シナ海側では強い寒気の影響で雲が広がりやすくなりました。奄美地方では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

中旬：九州南部では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。奄美地方では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

下旬：九州南部では、期間の中頃と終わりに気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。奄美地方では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

平均気温：屋久島、名瀬、沖永良部では「低い」となり、その他は「かなり低い」となりました。

降水量：枕崎では「平年並」となりましたが、その他は「少ない」となり、名瀬と沖永良部では「かなり少ない」となりました。

日照時間：宮崎、延岡、種子島では「多い」となりましたが、その他は「平年並」か「少ない」となり、名瀬では「かなり少ない」となりました。

2017年12月の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級				
	()	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)			
宮崎県	宮崎	7.6	(-2.0)	-*	7.5	(13)	-	2	208.6	(110)	+
	延岡	6.6	(-1.9)	-*	6.5	(13)	-	3	208.5	(109)	+
	都城	5.8	(-2.0)	-*	17.5	(30)	-	2	176.4	(102)	
	油津	8.7	(-2.0)	-*	21.5	(30)	-	3	173.2	(100)	
鹿児島県	鹿児島	8.7	(-1.9)	-*	29.0	(41)	-	5	145.0	(97)	
	阿久根	8.0	(-1.9)	-*	24.5	(33)	-	5	102.3	(80)	-
	枕崎	8.6	(-2.1)	-*	66.0	(70)		7	117.8	(88)	-
	屋久島	12.0	(-1.6)	-	175.0	(67)	-	11	67.2	(80)	-
	種子島	11.7	(-2.0)	-*	30.5	(37)	-	5	132.1	(119)	+
	名瀬	15.6	(-0.9)	-	77.5	(49)	-*	10	41.4	(56)	-*
沖永良部	17.3	(-0.8)	-	22.0	(23)	-*	6	73.1	(72)	-	

(注意)・「階級」の欄の符号は、+ :高い(多い) - :平年並 - :低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に*を付加した。この場合には +*:かなり高い(多い) -*:かなり低い(少ない)と表現できる。

・値の横に「) や]」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のもと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2017年12月の順位更新表(順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。)
・月降水量の少ない方から

順位	地点名	値(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	これまでの1位(mm) (西暦年)	統計開始年
3	沖永良部	22.0	95.2	23	11.0 (1988年)	1969年

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当

電話 099-250-9912 (内線 241・242) FAX 099-255-4234